

「西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」に基づく令和元年度  
 における取組の実施状況について

西知多医療厚生組合では、平成27年度に「第2次西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」を策定して温室効果ガスの排出抑制等を数値目標として示し、環境負荷の低減に向けた取組を推進しております。

なお、本計画における基準年度は平成26年度です。

1 実施状況

令和元年度の各施設における温室効果ガスの総排出量及びエネルギー等の使用量については、次のとおりです。

(1) 衛生センター

項目	令和元年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	令和元年度 までの目標値
温室効果ガス	814 t	875 t	△ 61 t	7.0%減	4%削減
上水道	11,744 m <sup>3</sup>	12,587 m <sup>3</sup>	△ 843 m <sup>3</sup>	6.7%減	4%削減
電気	926,613 kWh	920,595 kWh	6,018 kWh	0.7%増	4%削減
重油	129,841 ℓ	134,850 ℓ	△ 5,009 ℓ	3.7%減	4%削減
ガソリン	1,245 ℓ	2,114 ℓ	△ 869 ℓ	41.1%減	5%削減

(2) 公立西知多総合病院

項目	令和元年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量 (※1)	比較	実施状況	令和元年度 までの目標値
温室効果ガス	4,783 t	4,874 t	△91 t	1.9%減	4%削減
上水道	42,184 m <sup>3</sup>	32,705 m <sup>3</sup>	9,479 m <sup>3</sup>	29.0%増	4%削減
電気	8,701,713 kWh	8,090,256 kWh	611,457 kWh	7.6%増	4%削減
都市ガス	337,525 m <sup>3</sup>	372,376 m <sup>3</sup>	△34,851 m <sup>3</sup>	9.4%減	4%削減
ガソリン	2,889 ℓ	5,584 ℓ	△ 2,695 ℓ	48.3%減	4%削減

(※1) 平成27年5月開院のため、推計値とする。

### (3) 公立看護専門学校

項目	令和元年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	令和元年度 までの目標値
温室効果ガス	70 t	70 t	0 t	増減なし	現状を維持
上水道	1,233 m <sup>3</sup>	1,361 m <sup>3</sup>	△ 128 m <sup>3</sup>	9.4%減	現状を維持
電気	72,408 kWh	68,818 kWh	3,590 kWh	5.2%増	現状を維持
都市ガス	14,798 m <sup>3</sup>	14,414 m <sup>3</sup>	384 m <sup>3</sup>	2.7%増	現状を維持
ガソリン	1,466 ℓ	1,328 ℓ	138 ℓ	10.4%増	現状を維持

## 2 総括

西知多医療厚生組合では、従来の衛生センターに加え平成27年5月に開院した公立西知多総合病院（以下「病院」という。）と、公立西知多看護専門学校（以下「看護専門学校」という。）の3施設における環境負荷の低減に向けた取組を推進するため、「第2次西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

令和元年度の温室効果ガス総排出量について、衛生センター及び看護専門学校は目標を達成しましたが、病院については達成していません。

各施設のエネルギー等の使用量については、衛生センターでは、処理量の減少及び効率的な運転に努めたことにより、上水道の使用量を目標値以下に抑えられました。しかし、夏の猛暑の影響で施設設備の冷却等で使用するため、電気量は増加となりました。

病院は、病院の本稼働により上水道及び電気の使用量については増加したものの、都市ガスについては、機械を夜間の低負荷時間帯の間、効率的な運転方法に変更したため、使用量が減少しました。

看護専門学校は、上水道を除くエネルギーの使用量が増加しました。電気及び都市ガス使用量が増加したのは、基準年と比較して、9月及び10月の平均気温が高く、電気やガスの使用が増加したことによるものです。また、ガソリン使用量の増加は、実習先の母体となる病院が移転したことにより、公用車の使用回数及び走行距離が増加したためです。

今後も、設備の適切な維持管理、設備更新の際の省エネルギー製品の選定等を通じて、省エネルギーの推進を図り、温室効果ガスの削減に努めます。